



校友会だより

校友会誌

平成26年
2014年
第13号

ここ数年、母校の人気度が高まって、入学者数が定員を大幅に上回り、昨年度の募集定員320名から今年度は360名に増やした。今までは男子のみであった『スポーツ専修コース』も男女共学となり、昨年再編した『文理進学コース』も順調に軌道に乗っている。『グローバル商大コース』・『デザイン美術コース』と共に、全コース完全共学化が実現し共学気運が高まっている。学校方針に基づき、年々、各コースの取り組み内容が見直され、充実したものになっている。

「全コース共学化」 により共学気運高まる

特に『学力の向上』を大きなスローガンとして掲げ、日常生活における「ベル着の実行」を徹底している。始業のベルが鳴って、廊下を歩いている生徒は居なく授業が開始されている。

今までの本校に見られなかった気運が生まれている。何事も「当たり前のことを当たり前にする」事が大切、今後とも教師・生徒・保護者が一体となって、学校発展のためご尽力願いたい。校友会も微力ながらできる限りの支援をさせて頂きたく思っている。



母校 東側庭園から東館を望む

誌面ご案内

新旧会長挨拶・学校長挨拶・歴代の校長先生	2	平成24年度 事業報告・会計収支報告書	14	デザイン美術コース コンクール等 入賞一覧表	18
第84期生 349名 校友会会員に	3	平成25年度改選 役員一覧表	14	賛助広告	18
会員寄稿文・特別寄稿(10)	4	校友会総会・コンサート・懇親会 風景	15	校友会活動賛助金・賛助広告掲載のお願い	23
特別寄稿 オーストラリア修学旅行	11	2013年度 クラブ実績	16	新役員の要請・校友会誌の原稿募集	23
卒業証書授与式「送辞」・「答辞」	12	体育クラブ各種大会一覧表・大学合格状況	17	平成25年度 賛助金・賛助広告協力者芳名	23
平成25年度 校友会総会	14	簿記検定合格者数一覧表・卒業生進路状況	18	平成26年度 校友会総会のご案内	24

「会長就任のご挨拶」

校友会新会長 宮原 健



私は、平成25年度総会におきまして2代目会長に選出いただきました昭和34年3月卒業第29期生の宮原でございます。私ごとき者が会長職をお引き受けいたします事は、身に余る光栄で、身の引き締まる思いでございます。

前任の岡田誠一会長には、平成13年5月12日第1回総会におきまして初代会長に就任していただき、爾来、12年間に亘り校友会発展のためご尽力賜りましたことを心からお礼を申し上げたいと存じます。

岡田前会長が全身全霊を傾け、組織の整備を成し遂げられた実績は、称賛に値するものでございます。岡田前会長が常に言っておられた「お互いの親和のために、縦軸には母校愛、横軸には会員相互の信頼関係が必要である。ひいてはそれが母校発展のため何らかの力になるのではないか」との精神を今後も大切に継承していきたいと考えております。

校友会(発足当時は同窓会本部と呼称)発足以来、早いもので13年の歳月が経過し、曲がりなりにも組織整備が進み、毎年5月には定期総会が開催されまして、会員相互の親睦と母校の支援を図ることが出来ております。今後は、更に新たな事業を視野に入れながら校友会発展のため、力を尽くしたいと思います。

どうぞ会員の皆様には、よろしくご協力賜りますようお願いいたしまして結びといたします。

「校友会会長退任にあたり」

校友会前会長 岡田 誠一



校友会発足から12年間、会長を務めさせていただきました。ひとえに副会長、事務局長はじめ役員の方々の支え、会員皆様のご協力があったのことに感謝致します。

学校創立以来、校友会が存在しなかった不自然な体制は解消し、発足から今日まで、進むべき道筋と方向は確立出来たと思っています。

今後は学校当局とも足並みを揃え、PTAとの交流も視野に入れた行動が求められるところです。

役員皆さんの行動力と、会員皆さんの参加意欲をどう喚起するかが課題といえます。健闘を期待します。

退任後も、協力できることがあれば、老骨に鞭打って頑張ります。

「校友会総会に寄せて」

母校校長 堀井 純



校友会総会の開催を、心よりお喜び申し上げます。

また、会員の皆様には、日頃より本校教育に多大なご協力、ご支援をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、本校の「共学・普通科コース制」も、12年目を迎えました。最初は5コース(内共学はプログレス

国英・プログレス理数・デザイン表現の3コース)で発足。その後、進学デベロッパースが新設され6コースとなりました。

そして昨年、「プログレス国英・理数」「進学デベロッパース」を発展統合し、「文理進学コース」が募集を開始し、1期生が入学しました。現在、グローバル商大・文理進学・スポーツ専修・デザイン美術の4コースとなっております。また、唯一男子のみになっていたスポーツ専修コースが、今年より共学定員80名2クラスになりました。

今、本校では共学化の定着で、校内に女子生徒の明るい声が、溢れる学校になっています。しかし、まだ女子生徒数は全体の4分の1です。学校としては、今後4割位の割合になるように、女子の参加できるクラブの充実、精神的なサポートなどソフト面での取り組み強化を進めます。またハード面では、クラブ活動の出来る施設の確保、快適で清潔な学習環境作りを進めます。

引き続き学習面での取組みを強化します。充実した授業を基本に、家庭学習の定着を図り、学習する習慣を付ける学校、学力を付ける学校。そして、クラブ活動の盛んな学校。文武両道を目指します。

今後も皆様のご指導ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

■ 歴代の校長先生(敬称略)

初代	谷岡 登	昭3. 4. 1~昭13. 3. 31
2代	山田 楊之助	昭13. 8. 20~昭14. 5. 10
3代	竹谷 辰郎	昭14. 11. 2~昭18. 3. 11
4代	谷岡 拓磨	昭18. 3. 12~昭23. 3. 31
5代	谷岡 登	昭23. 4. 1~昭24. 3. 31
6代	谷岡 拓磨	昭24. 4. 1~昭42. 3. 31
7代	谷岡 太郎	昭42. 4. 1~昭44. 8. 31
8代	小林 得一郎	昭44. 9. 1~昭54. 3. 31
9代	湯原 俊雄	昭54. 4. 1~昭61. 3. 31
10代	柴田 巖	昭61. 4. 1~平4. 3. 31
11代	久間 博幸	平4. 4. 1~平9. 3. 31
12代	中山 次郎	平9. 4. 1~平12. 3. 31
13代	厚母 眞一	平12. 4. 1~平16. 3. 31
14代	尼子 東吉	平16. 4. 1~平20. 3. 31
15代	大塚 信一	平20. 4. 1~平25. 3. 31
16代	堀井 純	平25. 4. 1~

第 84 期生 349 名 校友会会員に



平成 25 年度 第 84 期生の卒業証書授与式は、本年 2 月 22 日(土)晴天の良き日に、母校体育館において挙行された。

定刻前にブレザーの胸にコサージュを付けた卒業生が、学級担任の引率によって紅白の幕が張られた式場に入場。クラスごとにセンターに横一列に整列し、保護者席に向かって一礼して順々に自席に着席して

いく。厳粛な式の準備が粛々と進む様は見ている非常に清々しい思いであった。卒業生の入場が完了すると、まずは開式に先立って、司会の教頭阪口耕次先生から来賓の方々が紹介され、式は定刻に始まった。

はじめに、副校長小松丈倫先生より学事報告があり、それによると本年度の卒業生は、昭和 7 年 3 月、旧制大阪城東商業学校の第 1 期生から通算すると第 84 期生に当たり、昭和 24 年 3 月新制高等学校の第 1 期生から数えても第 66 期生に当たるのだとか。その間の卒業生は総数にして実に 28,674 名にも上ること。母校の偉大な歴史を感じずにはいられない。

また、平成 15 年度から普通科にコース制が採用され、共学制が発足して 9 回目の卒業証書授与式に当たり、女子生徒も今年卒業した 82 名を加えて 353 名に上った。

各クラスの担任教諭から卒業生の氏名が読み上げ

られ、それに応え卒業生が自席で起立し、代表者が式場の中央に設置された舞台上で学校長堀井純先生から卒業証書が授与された。代表者は、来賓席・教職員席・保護者席の三方に深々と一礼し、自席に戻って着席した。

続いて、学校長の式辞、来賓の谷岡学園理事長・大阪商業大学学長谷岡一郎先生の祝辞、PTA 会長酒見厚史氏からの励ましの言葉が贈られた。



祝電の披露に続いて、在校生代表の河野貴一君からの「送辞」、そして、卒業生代表小林希碩君から「答辞」と進み、最後に校歌を斉唱して式は滞りなく終了した。

(送辞・答辞は、p. 12 に、全文を収録)

今回の卒業証書授与式は、実にシンプルで清々しく威厳に満ちた素晴らしい式であったと思ったのは、私だけであろうか。

卒業生の退場は、クラスごとに中央で横一列に整列し、“気をつけ”“礼”の号令で一同礼の後、式に参列した人たちの拍手に送られて、全員爽やかな顔をして式場を後にした。

教室では、最後のホームルームで、それぞれの健闘を祈りつつ再会を誓い合ったことだろう。

素晴らしい卒業証書授与式に参列して、若い人たちのパワーを吸収し、爽やかで晴れ晴れした一日であった。

(文責 宮原 健)



◎ 卒業者数の累計

第 84 回 卒業証書授与式 平成 26 年 2 月 22 日現在

学 校 名	全 日 制			定 時 制		合 計		累 計
	商業(男)	普通(男)	普通(女)	商業(男)	商業(女)	男子	女子	
大阪城東商業学校(旧制) 昭 6 年度~昭 25 年度	2,735			1,339		4,074		4,074
城 東 高 等 学 校(新制) 昭 23 年度	16					16		4,090
大阪城東大学附属高等学校 昭 24 年度~昭 26 年度	206	84		139		429		4,519
大阪商業大学附属高等学校 昭 27 年度~平 3 年度	5,875	10,970		591	26	17,436	26	21,981
大阪商業大学高等学校 平 4 年度~平 24 年度		6,099	245			6,099	245	28,325
平成 25 年度(第 84 期生)		267	82			267	82	28,674
小 計	8,832	17,420	327	2,069	26	28,321	353	
合 計		26,579		2,095		28,674		

※ 大阪城東商業学校の 全日制商業科=第 1 本科, 定時制商業科=第 2 本科 と読み替える。

附属中学校は、昭和 30 年 4 月以降、生徒募集中止。

旧制商業学校・高等学校・中学校の 総計 29,845 名

大阪商業大学附属中学校 昭 22 年度~昭 31 年度	1,171
-----------------------------	-------

会員寄稿文

「珍問・迷答」

第 21 期 (昭和 26 年卒業) 澤 邑 知 明

その 1.

先ず、以下の英文を訳してみてください。

Full in care. car word to be come. mid not.

我が日本が敗戦した直後(昭和22~3年)の頃の話で恐縮ですが、同じ音楽部の一年後輩H君がある日、「この英語を訳せるか」と、私達何人か居た中へ上記の英文を持ってきた。

戦時中、英語は“敵国語”として使うことが禁じられていたが敗戦を機に急変し、われわれも This a pen. から習いかけた頃だったので一生懸命に辞書を繰って単語を探して個々に訳してみたけれど、

… 満ちた・心配(注意)・車・単語・来る・中間・否定 …

誰も何の事かさっぱり判らない。H君が、「声を出して読んでみよ」との事で、

フルインケアー、カーワードトゥビーカム、ミッドノット
何度も繰り返し早く読むと、どうやら聞きなれた様な言葉に聞こえてきた。

正解は、「古池や 蛙飛び込む 水の水音」 (迷解答)

H君の話では、国立の或る大学の英語のテストに「次の英文を訳せ」と出たとの事。?

その 2.

我がクラスでのこと。昭和21~2年の頃で確か物理の時間。『電気』についての授業で先生が「電灯が消えたら、まず、何処を調べるか?」と質問された時、各々が手を上げて「停電ではないか、隣の家を見に行く。」「電球の締め方が緩んでいないか調べる。」「フィラメント・ヒューズが切れていないか電球を調べる。」「スイッチに異常が無いか調べる。」等々答えていたが、K君が手をあげて「領収書」と、大声で答えたので皆で大笑いした事を思い出した。(電気料金支払済か確認すると言う意味) 当時の背景には敗戦直後のことで、インフレーション甚だしく、急激な物価の上昇に所得(賃金)が追いつかず、一般庶民は経済的に非常に生活が苦しい時代。昨今のような電化製品(蛍光灯を始め発光ダイオード・テレビ・洗濯機・冷蔵庫・冷暖房機器、勿論、ゲーム機や携帯電話等)は一切無く、一般



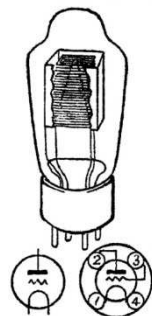
家庭では天井から、ぶら下った裸電

球の電灯(40~100W)。それも夕方から翌朝まで送電される家庭も多く、コンセントなど我が家にも1~2ぐらいだったか。

(戦時中、子供が外で遊んでいたら、親が「電気ついたら帰っておいでや」と言われていた。) また、当時は発電量が不足していて停電時間も長く、照明にはローソクやカーバイドランプなどで凌いで次の送電時間を待って暮らしていた。

また、電球が切れた場合、関西配電(今の関西電力)の営業所まで持って行って交換してもらっていた。他は三極真空管のラジオぐらいで蓄音機も手で巻くゼンマイ式が主で電蓄のある家は少なく、電器製品は皆無に等しかった。また、『タケノコ生活』と言って家にある衣類等を農家へ持って行って警察に捕まらないよう闇で食料と交換して貰っていた。経済的にも苦しい時代。あながち、侮った笑いでもなかったようだ。

三極真空管



その 3.

敗戦後、我が家の近くに天王寺中学に通っている2~3年歳の遊び友達のY君がいて、遊んでいる或る時に、「この間国語のテストで“藤村について述べよ」と簡単な問題が出て、当然国語で習った範囲のテストなので言わずとも『島崎藤村』のことについて、解答せねばならないのに、ある友達が野球選手の“藤村富美男”について詳しく書いて提出しよった。後日、先生が苦笑し、クラスで紹介し、そして注意されながら及第点だけは貰いよった。」と話をしてくれた。

「彼は熱狂的な大の阪神ファンで、当時は若林・御園生・梶岡・土井垣・本堂・白坂等、中でも人気スターの藤村についてはビックリするほど知識を持っていたのと、出題も「島崎藤村」でなく、『藤村』であったのでジョークで書いたのか、本気だったのか、クラス一同も大笑いした。」と、話してくれた事を思い出した。

当時は、昨今のような娯楽が少なく、我が校でもプロ野球の人気は高く、クラスでも毎日話題の出ない日は無く、南海や阪急・東映・国鉄等のファンも多かった。

その 4.

確か、昔の新聞で見たのだが、ある大学で「もし、この世に『摩擦と抵抗が無かったら』と、言うテストを学生に出したらしい。そこで、学生が現象を想像し頭を絞って種々解答を出していたが、或る学生が名前以外白紙で提出したとのこと。この白紙の提出者は「摩擦も抵抗も無ければ、解答も書けない。」というのが正解だったらしい。

「吹奏楽部 創部 80 周年に向けて」

第21期(昭和26年卒業) 青山 兼光

一昨年10月27日(土)上本町の中国料亭「杯杯天山閣」に於いて定例の吹奏楽部OB会(楽窓会)を開催した。

開会にあたって物故になられた方々に黙祷を捧げ、校歌を斉唱して懇親会に移った。

暫くは、各テーブルでそれぞれ談笑を交わしていたが、やがて順次ステージに立って近況や学生時代の思い出などを語る者、カラオケで自慢の喉を聞かせる者、隠し芸で笑わせる者、自慢のギターの生演奏で場を盛り上げる者など和やかな会であった。

そんな話題の中に、母校吹奏楽部に対する思いとして“どんな形で母校吹奏楽部に貢献できるか”との話しになり、“楽器の寄贈”が提案された際、数名から個人所有の楽器を寄贈したいとの申し出があった。

また、昨年10月26日(土)「がんこ桃谷店」で楽窓会を開催した折、当日参加していただいた母校吹奏楽部の顧問団(藤原・山田・高橋各先生)から提案があった。

“本年(平成26年度)は吹奏楽部の創部80周年(創部昭和9年)にあたることから、何らかの記念事業を検討したいので、楽窓会にもぜひご協力を頂きたい”とのこと。

楽窓会としては、母校吹奏楽部のためにどのような協力ができるかを検討し、まずは、会員諸氏に不要になった楽器の提供と浄財の拠出により資金の調達を依頼することになった。

早速、会員諸氏に呼びかけたところ、数多くの賛同を得て楽器の提供と浄財の拠出の申し出があり、楽器は、提供があり次第、楽窓会で取りまとめ「楽窓会会長名」で母校学校長あてに寄贈するという形にすることを確

認した。

3月末現在、次の楽器を寄贈した。

フルート・クラリネット・アルトサキソフォン・
テナーサキソフォン・バリトンサキソフォン・
トロンボーン 各1本 合計6本。



参加者は、回を重ねるにつれて若干の入れ替わりがあるものの固定されてきたように思われる。今後共、一人でも多くの参加者を得るため、積極的に縦・横の連絡を取り、なお一層、会を盛り上げようと話しあった。

お互いにスケジュールを調整して、元気な顔を見せていただけるよう期待している。

記念事業は、記念演奏会・記念パーティを
平成26年11月2日(日)開催の予定。
※ 詳細は、後日案内します。

「同期の誇り」

第23期(昭和28年卒業) 西野 泰司

昨年2月、16年ぶりの同期会で同期が顔を合わせると、おたがい八十路を忘れ、たちまち高校時代の青春が蘇り、元気になる不思議なパワーを与えてくれる。多くの物故者・連絡先不明の者がおったことは誠に残念無念。今も現役で頑張っておる者、悠々自適の者いろいろであるが、名簿を眺め小生は北海道・東京が長かったが最後の転勤地高松でサラリーマンを卒業以後香川県で隠居生活。大阪を離れ四十数年、故郷大阪に帰ることも少なく仲間の情報に大変乏しいが、同期の誇りを紹介し母校の益々の発展を祈ります。

名簿順に、本校友会発足から会長を勤め、親から引き継いだ事業を発展させ本誌の賛助広告常連の岡田誠一。奈良薬師寺の故高田好胤管長室長として、日本の心を説くまほろば講演会の全国展開に貢献。今も全国区の活躍をする玉置修三。商大野球部の監督になり現千葉ロッテのコーチ斉藤明雄を主力投手



平成25年10月26日(土) 於 桃谷駅前「がんこ桃谷店」

に育て全国大学選手権を制覇。その後、関西六大学野球連盟の理事長をした村上博。東日本大震災の時多額の寄付をし、何回も全国紙に社名が掲載され、岡田同様親から引き継いだ事業を発展させ本誌賛助広告常連の池本繁喜。本誌前号で紹介された刻苦勉励弁護士になり日弁連副会長や関西大学の理事長をした上原洋允。プロ野球南海ホークスに入り、東映等10年以上プロ球団に在籍した故 山本義司。その他は情報不足につき同期諸君ぜひ知らせてほしい。

彼等の活躍は、母校建学の精神「世に役立つ人物の養成」を実践し、“しなやかに・不屈不撓・誠実・高潔の校風”に培われた賜物である。

世は激動、後輩諸氏の益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。 合掌



平成25年2月14日(木) 於 大阪 新阪急ホテル

「自治会長多忙」 — 近況報告 —

第24期(昭和29年卒業) 高橋 利夫

母校卒業から

昭和29年3月、母校商業科を卒業した。いろいろあって、何とか卒業に漕ぎ着けたのであるが、その後の就職しながらの勉強の道は大変であった。二つの民間会社に勤めたものの長続きはしなかった。

受けていた国家公務員初級職試験で取りあえず神戸で就職した。当時、大学の勉強もしていたが、結婚するというので、大阪府庁国民年金課に転勤した。ちょうど国民年金制度が始まり(昭和36年4月)、異動しやすいときでもあった。

大学を卒業することができ、中級職試験にも合格。行政書士試験も合格したのが、このごろである。東京の社会保険大学の長期研修で首席となり、東京へ転勤した。

厚生省と総理府勤務を経験した。いわゆる本省といわれるところである。霞が関で永田町でと國の中樞といわれる中での仕事は、家族を犠牲にしながらも、やりがいのある仕事であった。福岡に神戸と単身赴任もした。その間、二人の息子は、現役で

大学入試を果たした。浪人はさせない。合格したところで選択しろと言ってきたからである。

総理府勤務時には、弁理士会副会長を務めておられた安田敏雄先生が、特許庁へこられた折りにお立ち寄りいただいたりした。ありがたかった。

サラリーマン定年退職後

55歳で厚生省を勸奨退職し、63歳まで財団法人で社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の国家試験に従事してきた。繁忙期には、朝、回数券で出勤すると、夜は、終電車が、午前様でタクシー帰りであった。

そんなことから、子どもの教育も、近所づきあいも全て女房任せで、地域とは没交渉の状態であった。

退職後、自治会・老人クラブの総会に出てみた。その1年後、自治会・老人クラブで若手の男性役員が少ないとて、理事に推されて受けてみた。社会保険労務士・行政書士を開業し、自宅に看板を掲げたところであった。

自治会の役員に関連して、氏子会の理事となった。夏祭り・納涼大会の運営がある。氏子会の存在すら知らなかった。

また、公民館に学識経験者として、運営協議委員会委員を仰せつかり、事業や自治会・団体が拠出する予算の協議に参加するようになった。

会長就任

自治会の会長は、生え抜きの地元の人で、高齢者でもあった。4年を経過したときに会長が辞任し、二人いた副会長も一人が辞めるということで、会長をと平理事の私にお鉢が回ってきた。退職後に一戸建てを求めて転入して10年にもなっていなかった。

これまでは、担当部だけに目を向けておけば良かったものが、会長ともなると、近隣の自治会や団体との関係もおろそかにできない。

春には、小学校に入学する児童へお祝いをすることから始まり、総会の開催、夏祭り・納涼大会と続き、敬老会の開催、バス旅行の実施、その間に自主防災会の総会・訓練などが加わる。18名もの理事・監事がいる。行事の連絡が欠かせない。そして、監査を受けて、1年の締めくくりである。

連合会長就任

地区の18自治会が集まって、地区自治会連合会を形成している。その会長に祭り上げられて、23年4月に就任したのは、会長8年目ともなっていた。そして、同時にさいたま市浦和区自治会連合会の副会長に就いた。そして、自治会長10年目の昨年5月には、浦和地区自治会連合会会長をやれということで、引

き受け、同時にさいたま市自治会連合会副会長に就くことになった。さいたま市は、政令指定都市で10区あるから、区の会長は、市自治会連合会の会長又は副会長(9人)になるというものである。

区自治会連合会会長は、浦和区防犯ネットワーク協議会会長や県共同募金会さいたま市浦和区支会支会長といった役職がついてくる。

住民の代表として

自治会は、地域において、向こう三軒両隣の関係から、ゴミや環境の諸問題や子どもから障害者・高齢者までの安心・安全のため、防犯や防災活動に熱心に取り組んでいる住民の自主的な組織である。

そのため、行政から住民の代表として、いろいろな場での発言を求められることが多い。具体的には、行政での審議会等で住民代表として参加することになる。

今回私が参加したものは、過去の経験を生かせるものとして、埼玉県後期高齢者医療懇話会、市国民健康保険運営協議会、市情報公開・個人情報保護審議会その他五つである。これらには、時期的なものや年4回程度の継続的な会議のあるものがある。与えられた場で役目を果たしていくことだけである。

生業としての社会保険労務士の方は、講義と年金相談のみを継続している。これから、まだ1年は、多忙な自治会長で70歳代の残りを送ることになっていると思っている。

「高齢者なれど健康な兄弟」

第28期(昭和33年卒業) 宮田 悠紀雄

平成25年6月22日(土) 18時集合。昨年のお話し合いで戴いた意見を参考に、今年は1時間開催を遅らせて皆さんの出席を待つ。毎年のことであるが、梅雨どきの開催の為天候の崩れるのが一番心配であったが、この日は初夏を通り越したような暑さである。幹事3名の準備も整い、開催時間が近づくにつれ一人また一人と懐かしい顔が集まって来る。

定刻になり開会の言葉に始まり、校歌斉唱～恩師、同窓生(この一年の間に石橋兄がご逝去されました)そして今尚復興の遅れている東北地方の被災者の方々を含めた物故者への黙祷～校友会近況報告～大阪商業大学高等学校校友会への参加をお願いする。

その後プログラムの進行に基づき、本日の出席者の中で、一番遠路から出席戴きました多田兄の乾杯の音頭で懇親会が始まる。各テーブル毎に懐かしく元気に歓談が進む中、アルコ

ールも入り一段と賑やかになって来る。当日の楽しいお話しの一部を幹事の独断で次にご紹介致します。

T兄談 仕事も順調だったが血液関係の難病(血液再生不良)に罹り、長年の治療と闘病生活に苦しみ何とか回復し最近では夫婦子供達と一緒にお気に入りのお店に毎週、モーニングを楽しみに行っております。

M兄談 平成22年秋、瑞宝単光章の叙勲に伴い、長年私を支えてくれた妻と一緒に夫婦で美しい皇居に参上できた事は、一番栄誉ある出来事であったと思います。

S兄談 実は昨日まで入院(前立腺)しておりましたが、無事退院できて何とか本日出席できて、又皆さんの元気なお顔にお会いすることができて本当に嬉しく大変喜んでおります。

M兄談 長年お馬さん可愛がって来ましたが、中々報われなかったのですが、今年は一寸嬉しいことが有りました。それは馬券でうん十万(百万に近い)と言うレースを当てたことです。初めてのことで家族や親戚が集まって食事会を行いました。これが最近の嬉しかったことです。

和やかな歓談は際限も無く続くようではありますが時間にも制限があり、杯杯天山閣の支配人をお願いし記念撮影の後、来年も再会できる日を楽しみにお開きとする。

尚、平成26年も6月で計画の予定です。各自のスケジュール調整を御酉慮願います。 幹事一同



平成25年6月22日(土) 於 上本町「杯杯 天山閣」

「第26回 全国健康福祉祭こうち大会 (ねんりんピックよさこい高知2013)に参加して」

第32期(昭和37年卒業) 井野 早雄

平成25年5月、大阪中央体育館で「ねんりんピックよさこい高知2013」の太極拳大阪予選が開かれ、運よく代表に選出さ



れました。

そして、10月25日高知に向けて大阪
市団総勢134名、バス4台で出発しまし
た。あいにく26・27号のツイン台風の
さなか吉野川の激流に逆らって進み、
徳島高速道路の通行止めにあいながら
も無事高知に着く事ができました。

翌26日、台風一過の快晴です。ビジ
ネスホテルから三翠園に立ち寄り朝食を頂き、高知県立春野総
合運動公園の陸上競技場での開会式。1番の沖縄から最終67
番主催県の高知まで総勢10,000人、常陸宮様に高々と帽子を揚
げ入場行進をしました。聖火ランナーの入場、点火ランナーに
バトンタッチ、その人は、な・な〜んと寛平ちゃん(写真)、
点火し得意のスタイルで競技場を笑わせて
くれました。入場式も終わり、地元の皆さ
んの「よさこい踊り」などのアトラクショ
ンを楽しみながら弁当を頂きました。開会
式終了後、太極拳に出場する選手、バス12
台に分乗し明日の試合会場に向かいました。
持ち時間1分間の絨毯の感触と立ち位置確認を許されました。



27日、連日の5時起き、ホテル・三翠園での朝食を摂りバス
で1時間半、須崎市立スポーツセンター(国体の競技のために
作られた体育館・よこなみアリーナ)へ。

太極拳だけの開会式、大阪市のユニホームに身をつつみ選手
入場行進、国歌斉唱、いよいよです。試合の出番は57番中49
番、3時過ぎでした。待つのは長いが演武時間は4分間、得点
は「9.10」予想以上の高得点、あと7チームを残し2位の
成績です。結果は57チーム中の3位、目標を大幅に上回しまし
た。が、しかし3位が2チーム、同点処理のすえ4位の結果に
終わってしまい、そのため表彰式には出られず成績が良かった
割にはなにか気の重い雰囲気にも包まれてしまいました。なお激
励金・応援をしていただきありがとうございました。



高知県立春野総合運動公園陸上競技場での開会式

「バレーボール全日本チーム歴代の監督」

第 38 期 (昭和 43 年卒業) 田 中 修

母校出身のバレーボール全日本チームの監督を、列記しまし
た。日本の高校バレーボール界においても、6名も監督を輩出
した高校は他に例がないと思います。

彼らは、今は亡き恩師 上野 尚志先生 の教えである「上野
バレー (心のバレー)」から生み出された財産だと思います。
天国でその活躍ぶりを大いに賞賛し、微笑んでおられること
でしょう。

特に眞鍋・南部君には2016年ブラジルのリオデジャネイロで
開催される夏季オリンピックに出湯し、メダル獲得にむけて躍
進してもらえる事を期待しています。

《全日本女子チーム監督》

氏 名	卒 業 期	在任期間
葛和 伸元	第 43 期 昭和 48 年卒業	1997 年～2000 年 シドニーオリンピック<2000 年>最終予選敗退 出場せず
柳本 晶一	第 40 期 昭和 45 年卒業	2003 年～2008 年 アテネ<2004 年>出場 5 位、北京<2008 年>出場 5 位
眞鍋 政義	第 52 期 昭和 57 年卒業	2009 年～? 年 ロンドン<2012 年>出場 3 位 (銅メダル獲得)

《全日本男子チーム監督》

氏 名	卒 業 期	在任期間
辻合真一郎	第 43 期 昭和 48 年卒業	1996 年 アトランタオリンピック<1996 年>最終予選敗退 出場せず
植田 辰哉	第 52 期 昭和 57 年卒業	2005 年～2013 年 北京<2008 年>出場 11 位、ロンドン<2012 年>出場せず
南部 正司	第 56 期 昭和 61 年卒業	2014 年・2 月就任

『校友会だより「校友会誌」』の原稿募集

次号(第 14 号)に原稿投稿のご協力を !

校友会活動を充実させるため発刊している『校友会
だより「校友会誌」』をより充実した内容にするため
には、皆様よりの投稿が不可欠です。

同期会・クラス会・クラブOB会などの状況・生徒
時代の思い出・短歌俳句 等 どんな内容でも結構で
す。写真や資料の提供も歓迎します。詳細は、本誌
p. 23 を参照してください。

なお、同期会・クラブOB会など開催の情報を事務
局までお寄せください。校友会から些少ですが補助金
を支給させていただきます。

校友会事務局



南部正司
新監督

南部氏 代表監督就任へ

バレー男子 サトウ氏1年で交代

バレーボール男子の日本代表監督にプレミリーグの強豪パナソニックを率いる南部正司監督(46)が就任することが5日、確実になった。男女を通じ外国人初の日本代表監督となった日系米国人のゲ

リー・サトウ氏(59)は1年で退任することが同日、日本バレーボール協会から発表された。次期監督は6日、協会が東京都内での記者会見で明らかにする。南部監督は選手時代にアタッカーで活躍し、代表経験もある。2007年にパナソニックの監督となり、09、10年シーズンと11、12年シーズンにプレミ

リーグ、全日本選手権、全日本男女選抜大会の3冠に導いた。米国男子のコーチなどを務めたサトウ氏は昨年、16年リオデジャネイロ五輪を目指して就任したが、世界選手権アジア最終予選で敗れて本大会出場を逃し、国際大会のワールドグランドチャンピオンズカップでも5戦全敗で初の最下位に終わ

るなど不振が続いていた。就任1年目で最悪に近い結果に終わったサトウ監督に対して、日本バレーボール協会は早々と見切りをつけた。幹部は「長い目で見ていく」と話していたが日本男子は弱体化が進んだ。結果、内容とも強豪国に大きく見劣りし、世界のトップレベルを争う女子と差は開く一方だ。

就任当初はスマートバレーという言葉を用いて「私が1から10までやるのではない。コーチやアナリストに仕事を任せ、次のプレーを選手に予測させた」と自主性を重んじた。だが、新しい考え方は十分浸透しなかった。通訳なしでは戦術を伝えられないものか、しきももあった。

サトウ監督は昨年12月の全日本選手権、1月の全日本高校選手権を視察し有望選手のいる高校、大学の指導者にあいさつに出向いていたが、道半ばで代表を去ることになった。

不振続き見切り

サトウ監督は昨年12月の全日本選手権、1月の全日本高校選手権を視察し有望選手のいる高校、大学の指導者にあいさつに出向いていたが、道半ばで代表を去ることになった。

平成26年2月6日(木) 毎日新聞より転載

「第83回 卒業式」

第48期(昭和53年卒業) 五十川 精三

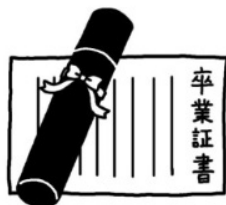
去る平成25年2月23日 第83回卒業式で 297名の生徒たちが本校を巣立っていきました。生徒たちは、日頃以上に晴れやかで少し大人らしく見えたのが印象的でした。

この生徒たちが、大学・短大・専門学校・就職等とそれぞれが自分の進路に向かって新たな一歩を踏み出してくれるものと期待しております。

4年前を思い起こしてみれば、私が学年主任になった4月の最初に、ネイティヴの先生から、あなたがリーダーですか? って尋ねられ、その時にリーダーって、生徒の前では、いつも口にする事が多いのですが、実際にリーダーってどんな事をする人の事を言うのだろうって考えさせられました。

そこでリーダーの役割は自分の中で考えた結果、どんな失敗があっても、その担任の責任にせず守ってあげる事だと思いました。

本校生徒の体質として自由での



びのびした一面と、けじめがなくだらしない一面をもち備えている。年々入学してくる生徒には、気質の変化が見られ、モラルの低下と共に多様な問題行動が発生している。それゆえに勉学・スポーツに励ませ、進路保障をするだけでなく、将来、世に出てすばらしい社会人となるため、必要なマナーを身につけさせていく事は不可欠であると考えました。そこで学校が良くなるためには、又、学年が良くなるためには、又、クラスが良くなるためには、又、生徒が良くなるためにはと考へ、→ ①時間を守る。②人の話を頭で聞くのではなく心で聞く。③生徒が何か問題行動を起こした時は、怒るのではなく、叱れる学年団になれるようお願いして学年がスタートした事が思い出されます。

学年が上がるにつれて生徒たちの心の中には、少しずつその思いが蓄積されていき、それがいつか表面に表われる事が感じられ、それが成長するという事だと感じました。

人は、当たり前な事を当たり前に行えるように、諦めずに続ける事の大切さを実感しました。

又、私が3年間やってこれたのは、校長先生はじめ、担任団、先生方が支えてくれた事だと感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有り難うございました。

平成24年度 第3学年 担任団 (写真・敬称略)

- 後列 小田 明広(9組) 左古 正(7組) 天野 隆夫(4組)
中井 芳典(5組) 久語 民雄(6組)
前列 豊島 裕子(8組) 巽 友宏(10組副主任)
五十川精三(1組主任) 山崎 祐子(3組) 倉田 実明(2組)



平成25年2月23日(土) 於 卒業祝賀会会場

「Let's Begin! (何かを、始めよう!)」

第53期(昭和58年卒業) 東野 義晃

2014年に入り、早いもので2か月を終わろうとしています。仕事・プライベートの面を含めて激動のスタートになりました。題字の「Let's Begin!」は、子供の時に見たTV青春番組での主人公のセリフですが、自分の人生の中で、また新しい事に挑戦する事になった記念の年になりました。

今春から、母校(大阪学院大学)の大学院国際学研究所の修士

特別寄稿

『東京国体優勝の思い』

母校 ゴルフ部 第3学年 松田 なつき
(第84期 平成26年3月卒業)

平成25年9月に行われた「国民体育大会」(東京都)で大阪府代表として出場し、優勝することが出来た。代表3人の内、最年長で出場2回目ということもあり、私がチームを引っ張らないといけなかったのですが、結果としては逆に足を引っ張る形となってしまい、とても悔いの残る試合になりました。

国体の時期が受験と重なり、練習不足だったことが、本来の実力を出せなかった原因だと思います。しかし、それは唯の言い訳にしか過ぎません。一大イベントである国体の代表選手に選ばれたというのに、勉強のせいで調子を合わせられないということは、一人のスポーツ選手として失格です。自分のアスリートとしての甘さが、数字に表れたのがこの試合だったと思います。

そんな自分を優勝に導いてくれたチームメイトの二人には感謝しかありません。悔しい試合でしたが、新たな課題を見つけられ、さらには優勝することができ、一生忘れられない試合となりました。このような貴重な経験が出来たのも、両親はじめ応援し支えて下さるすべての人たちのおかげです。ゴルフは他のスポーツに比べ、あらゆる面でサポートを必要とするスポーツです。そのため、常に感謝を忘れず、いい結果を報告することで恩返ししていきたいと思います。残り数カ月で私も晴れて大学生になります。高校三年間で培った経験を活かし、大学生活でも努力を惜しまず充実した四年間にしたいです。(平成26年2月記す)

課程に、入学する事になったのです。大学を卒業して26年ぶりに学生に、戻ります。

何故?大学院に進学する事になった理由は、昨年の夏に母校の恩師に営業に行き(本業は、旅行会社勤務)先生からの依頼で、現役の学生に業界事情を話す事になりました。

その後、先生から「大学に戻り、自分(先生)の弟子になって将来は大学で、教える道を考えないか?」誘われた訳です。どうやら?先生の目には若い学生を教える素質ある。と判断されたみたいです。私には、教職員資格ありませんが大学には、それは必要ないとの事でした。正直、悩みましたが折角、誘って頂いたので挑戦する事にしました。

問題は、私が現役の時には無かった論文試験です。社会人枠の入試問題は、論文と面接。面接は話す事が商売!自信ありますが「論文」はありません。昨年9月頭に話がきて下旬から、試験勉強開始。10月下旬の入試に挑戦。試験までは、とにかく図書館にこもり、「論文」の書き方の勉強です。結果、入試「合格」の通知が来ました。

恩師曰く、大学院生になると研究者の仲間入りするとの事。とりあえず恩師の所属する日本比較生活文化学会に、入会を許可されました。

この学会で、何を研究するのか?正直、まだ手探り状態ですが春の入学までに、研究テーマを決めて2年間で、修士(マスター)の資格取得。そしてどこかに大学での講師デビューを、人生第二の夢として挑戦していきます。

思い返すと、学生時代担任の堀井 純先生(現校長)や、田中 修先生に「他人の後ろに隠れずに、前へ出なさい!」その気持ちを、習った記憶あります。挑戦する気持ちを、いつも持ち続ける気持ち持てました。人生、いつまでも挑戦です。

防災倉庫カラフル変身



防災備蓄倉庫に絵を描く高校生ら(今年3月) = 大商大高提供

東大阪市東石切町の自治会が災害に備えて新設した防災備蓄倉庫のシャッターに、同市の大阪商業大高校の生徒が防災をテーマにした絵を描いた。押し寄せる津波や火災から避難するよう、女性が子どもやお年寄り、動物に呼びかける色鮮やかな絵。写真で、住民や通行人らの間で話題になっている。備蓄倉庫は約11平方メートル、東日本大震災を受け、「1丁目自治会」(約250世帯)が町内の市有地に約230万円かけて今年1月に完成。「殺風景で何

高校生が力作



の倉庫かわからない」との声があり、同高に絵の制作を依頼した。デザイン美術コース2年(当時)の有志7人が春休み中に4日間かけて、高さ約2.5メートル、幅1.6メートルのシャッターにペンキで描いた。絵の原案を考えた清野萌奈さん(18)は、「子どもたちにも親しみやすいよう、キリンなどの動物も入れた。災害が起きたら皆で助け合って下さい」という思いを込めた。同会の岡本勝彦会長は「全ての生き物に避難を呼びかける発想が素晴らしい。住民の防災意識が高まる」と話している。

わだい

高校生とコラボ! 自治会防災倉庫が完成

東石切町1丁目自治会がこのほど自治会防災倉庫を建設しました。近年、日本を襲った大震災により、自然災害には日ごろの備えが肝心と考えた岡本勝彦自治会長が、自治会においても防災倉庫が必要なのではないかと自治会員に呼びかけたところ、全会一致の賛成が得られ、建設することになりました。倉庫

のシャッターには、岡本会長の母校である大阪商業大学高校美術部の生徒8人によって絵が描かれています。岡本会長は「この前を通る子どもたちや町会の皆さんにも関心をもってもらえるような倉庫になりました。水や食料、発電機だけでなく、子どもの備品なども保管し、地域のため、さらには東



シャッターの絵は「防災」をテーマに大商大高の生徒たちが自由な発想で描きました。

特別寄稿

「オーストラリア修学旅行」

母校 第3学年主任 坂口 洋平
第60期 (平成2年卒業)

平成25年度第2学年の修学旅行訪問先は、オーストラリアのゴールドコーストでした。修学旅行先としては2年ぶりとなります。

準備段階では、燃油サーチャージの高騰による費用面の不安や自主研修の準備など様々なことがありましたが、無事に出発の日を迎えることになりました。

1日目は、関西国際空港に集合して、ゴールドコーストへ。飛行機の中では機内食で外国人キャビンアテンダントとのやり取りに四苦八苦。『チキン or ビーフ or ベジタブル?』と聞かれ緊張しながら答えていました。

約8時間のフライトを終えゴールドコースト空港に到着しました。日本とオーストラリアの時差は1時間ということで時差ボケをしている生徒はいない様子でしたが、長時間のフライトで生徒はやはりお疲れの様子でした。そして緊張の入国審査。ほとんどの生徒が初めての体験でした。緊張した顔でパスポートを提示し、英語での質問に戸惑っている生徒もいましたが、全員無事に通過しました。その後はバスに乗り、ポイントデンジャーという海を見渡せる絶景ポイントで記念撮影。そしてカランビン野鳥園へ。

野鳥園では、日本では体験できないコアラを抱いての写真撮影やカンガルーの餌付けなどがあり、また珍しい動物がたくさんいました。昼食では、フィッシュアンドチップスを地元サーファーの一番人気店で食べました。やはり海外の食事は量が多いと言われていた通り私たちの予想をはるかに超える量がお皿に乗っていました。その後は、地元のスーパーマーケットで買い物をしました。ジュースやお菓子を買い揃え、ホテルにチェックインしました。

2日目は、パラダイスカントリー農場に行きました。農場では、カンガルーやその他の動物の餌付け・赤ちゃん動物の見学・羊の毛刈り・ビリーティというオーストラリア原住民のお茶とケーキ・乗馬ショー・ムチならしや牧羊犬のショーなどといった各プログラムを見てまわりました。各アクティビティには現地の人と一緒に参加体験できるものもあり、クラスの何人かの生徒は前へ出て現地の人と一緒に羊の毛刈りなどの体験をしていました。そして昼食を取り、午後からはビーチへ行きゴールドコーストの海を堪能しました。ビーチでの波は高かったですが、砂はすごく細かく、海の水もとても綺麗でした。

3日目は、修学旅行のメインプログラムの一つである班別自主研修。グループに分かれ、ブリスベンの街を散策し、チェックポイントをまわりながらお昼ご飯も生徒たちだけで食べるという研修プログラムです。サウスバンクパークというフリーマーケットなどが行われる公園をスタート地点とし、班別自主研修がスタートしました。生徒たちは元気に地図を見ながらチェックポイントへ。ゴール地点は『OKギフトショップ』。遅れることなく時間通りに続々と生徒が戻ってきました。「お昼は日本食を探して食べた」「道に迷った」「現地の人に話しかけられた」「お土産買った」など、様々な声が生徒から聞かれました。そして、この日の夕食は、ハードロックカフェ。大きなハンバーガーを食べました。中には「昼食マクドやったのに」という残念な声も。この日生徒たちは各班ごとに貴重な体験をしていました。

4日目は、これも修学旅行のメインプログラムである選択プログラム。世界遺産である山を散策し、展望台から絶景をみながら歩く『世界遺産スプリングブルック国立公園』。ボートで無人島に行き、オーストラリアの澄んだ水の中を足ひれをつけて泳ぐ『シュノーケル体験』。広大な山林の中を自分で馬をコントロールしながらゆっくりと散歩する『乗馬トレッキング』。南半球の大陸では珍しいシロクマがいる『シーワールド観光』の4つの中から生徒たちが選んだプログラムをしてもらいました。

各プログラムともすごく魅力のあるプログラムでした。『世界遺産』では、散策の後に環境保護について貴重な講義を受けました。『シュノーケル体験』では、シュノーケルの最後に魚への餌付け体験をさせてもらいました。『乗馬トレッキング』では、乗馬していると最後には馬と一体になれた感じがし、それに加えヒーリング効果抜群で癒されました。『シーワールド体験』では、この時期にだけ産まれたばかりのシロクマの赤ちゃんが公開されていました。

5日目は、ゴールドコーストからの帰国の日です。充実した疲労感と名残惜しさでいっぱいの様子で生徒は帰り支度を整えてホテルのフロントに集合していました。中には「まだゴールドコーストにいたい」と言う生徒もいれば、「早く日本に帰って白ご飯が食べたい」という生徒もいました。それぞれに何かを感じながらホテルを後にしました。そして長時間のフライトを経て関西国際空港に到着。教員・生徒一同、心から安堵しました。到着ロビーには多くの保護者がお迎えに来られていました。生徒たちは、少し照れた様子を見せながらも何かしら自分が経験したことに自信をつけたような表情をして家路につきました。

今回の修学旅行は、日本には体験できないようなことを生徒に体験してほしいという趣旨のもと計画を練ってきました。出発前の結団式では、「一生の思い出になる修学旅行にしてほしい」と生徒たちに向かって言いました。思い出に残る素晴らしい修学旅行になったことを切に願うばかりです。今回の修学旅行での経験が生徒たちを一回り成長させてくれたと思います。またこの経験が、きっと将来のどこかのタイミングで生きてほしいと強く思っています。

今回、ご協力いただいたOBの方々、添乗員・看護師の方々、そして何よりも生徒の支えになっていただいている保護者の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



カランビン野鳥園



パラダイスカントリー
毛刈りショー



市内自主研修街中

卒業証書授与式「送辞」

在校生代表 河野 貴一

卒業生の皆様方、御卒業おめでとうございます。在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。私達在校生は、先輩方が卒業されることに惜別の念を抱いています。

振り返れば私達は、先輩方に大変お世話になりました。



体育祭では各団の先輩方がリーダーシップを発揮し、団員をまとめ、全員が

協力して競技に臨むことで、優勝を目指すことができました。文化祭では、先輩が楽しそうにパフォーマンスを披露したり、クラス一丸となって模擬店を成功させようとしている姿を見て、私達も先輩方のようになりたいと思いました。また、クラブ活動をされていた先輩方からは、私達がしっかりとクラブ活動ができるように、時に厳しく、時に優しく指導していただきました。

私達が先輩方から学んだことはとても多く大変ためになりました。今後の学校生活を過ごしていく上で何事にも変えることのできない大切なものになっていくと思います。卒業生の皆様方、今まで本当にありがとうございました。

皆様が私達に示して下さった商大高生としての誇りや、代々受け継いできた伝統は私達在校生がしっかりと継承していきたいと思います。

これから先輩方はそれぞれの道を歩んでいかれると思います。その中で、時にはその道の途中で立ち止まることもあるかもしれません。そんな時こそこの商大高校で過ごした三年間の日々

のことを思い出してください。楽しかったことも、つらかったことも、仲間と共に笑い合ったことも、この学校で学んだことは、きっと先輩方の力になりどんな困難でも乗り越えていけると思います。先輩方にはそんな強さがあると信じています。

先輩方の未来に幸多き日々が訪れることを切に願っております。



卒業証書授与式「答辞」

卒業生代表 小林 希碩

本日は、大阪商業大学高等学校 平成25年度卒業生347名の為に、一生の思い出に残る卒業式、本当に有難うございます。

少しずつ染まり行く春色の空の下、いつもと同じ朝を迎え、いつもと同じ校門をくぐり、いつもと同じ教室、そして仲間たち。今日も変わらない一日の始まり。三年続いた日常の風景。だけど、一つだけ違うものがある。それは、今日が高校生活の最後の日という事です。

大阪商業大学高等学校での三年間は、色々なドラマの始まりでもありました。長い人生の中で、高校生活は一瞬でしかない青春の中のワンシーンです。

思い出します。三年前、桜舞い散るあの日、数ある高校の中から、まさにここで私たちは出会いました。始まりは、緊張と遠慮からだったことを今も覚えています。

お互い何もわからないまま参加した宿泊オリエンテーション。あの日を振り返ると、この仲間たちに「なぜ、あんなに緊張してたのだろう」「なぜ、そんなに気を使ってたのだろう」、そう思えるのは、私だけでしょうか。三年間という時が、私達をこんなに気安く話せる関係にしてくれました。

又、バンクーバーやシアトルでの経験は、私たちにグローバルと言う事の必要性を教えてくださいました。これからの私たちは、海外も視野に入れ、色んな事に挑んでいかなければなりません。人はどんな時でも窮地に立てば何でも出来る。片言の英語、身振り手振り、側にいてくれる心強い仲間達。海外での生活で、価値観が少しは変わったような気がします。そういう経験が、新たな事への第一歩だと気づかされた修学旅行。

勝利を意識し、先輩、後輩、クラス、学年の垣根を超えて、青春の風が駆け抜けた校内大会や体育祭。

思いが強くなるほどに、思いが大きくなるほどに、妥協することが出来ず、意地の張り合いやぶつかり合い。そんな葛藤の中で、お互いがお互いをうやまい、理解し合ってつくり上げた物は、誰もが感動し笑顔が咲き誇る物になりました。そういう時こそ、人と人とは強い思いでつながることができる。そんな仲間との力の可能性を身をもって感じた文化祭。

緊張と遠慮から始まった三年間も、卒業のシーンを付け加えればよいよ最終回です。淡々と刻まれる日常は、始まりも終わりもいつも同じ時が流れ、そして過ぎ去って行く。時に早く、時にゆっくりと。

しかし、私たちは数多くの出会いと別れの中を通り過ぎ、成長してきた事は言うまでもありません。

今、言おう。ここで出会えて本当に良かった。
 今、懐かしもう。喧嘩した事、大笑いをした事を振り返り。
 今、思いだそう。ここで過ごせた三年間を。
 今、感じよう。別れの時の切なさを。
 今、進もう。それぞれが目指す、自分探しへ。



ここで出会えた奇跡は偶然ではなく、必然だったと感じています。みんな有難う。気を使わない関係になってくれて。そして、有難う。友達でいてくれて。

そんな私たちにとって、心から恩師といえる先生方と、この学校で会う事が出来ました。

担任の先生や教科の先生方、学校生活や進路相談など、その都度私たちの為に真剣に相談にのって頂きました。良いことばかりで無く、困難な状況にも冷静に対処して頂き、助けてもらった生徒も沢山いるのでは無いでしょうか。わたくし事ではありますが、三年間無遅刻無欠席で通学できたのも、この学校が大好きになれたのも、本当に楽しい授業と素晴らしい教師に出会えたからだと感じております。

お願いがあります。又、会いに来ますので、いつまでもこの学校で教師を続けてください。今日まで有難うございました。

クラブの顧問の先生、暑い日も寒い日も私たちのために、時に厳しく、時に優しく指導していただき、本当に有難うございました。クラブで経験した事、学んだ事は私たちの人生において最強の武器です。何かがあった時、その武器でどんな事にも挑んでいけます。そう思えるぐらいの勇気を貰う事が出来ました。お体に気をつけて、これからも心の強い人間を育てていって下さい。

在校生の皆さん、残りの高校生活を充実したものにするために、毎日の生活で自分を磨き、一日一日を大切に、新しい何かを見つけてください。この学校はそれを見つける事が出来る

学校です。今後の可能性を信じ、有意義な学校生活を送り、明るい未来への道を切り開いていく事を心から願っています。皆さんの道しるべになれるよう、一足先に出発します。後輩諸君、行って来ます。

そして一番自分たちの事を理解し、支えてくれたのは家族です。高校生活ではまた色々心配を掛けてしまいました。勉強の事やクラブ活動、人間関係など、その度に一緒に進むべき道を探してくれました。そして今も一緒に歩いてくれています。どんな時にも横にいてくれるのは家族です。心強く安心して目指す道を歩めます。中々照れくさく、面と向かって言えないと思いますので、代表して言わせて頂きます。

家族へ。心より感謝しています。本当に有難うございます。これからもきっと迷惑をかけますが、その時は宜しく願います。

高校生活の三年間は信じられないほど早く過ぎ去りました。それでも、この三年間、たくさん学び、たくさん驚き、たくさん悩み、そしてたくさん笑いました。そうやって、少しは大人になれたと思います。今日、この学校の門を出ると、私たちは自ら選んだ新しい道を進んで行きます。次の進むべき新たな道がある限り、ここで別れに悲しんでいる暇はありません。

今日、新たな夢へと向かう仲間たち。今、時は満ちた。目の前に見え始めた光が進むべき道です。さあ、歩き始めよう。無限の彼方へ。

最後になりましたが、諸先生方のご健康とご活躍、それに大阪商業大学高等学校のますますのご発展を願い、ここに答辞といたします。

平成25年度 第3学年 担任団 (写真・敬称略)

後列 浦野真理子(7組) 上田 英明(8組) 櫻本 崇士(9組)
 山田 恭子(10組) 緒方 敬一(11組 副主任)

前列 垣添 朋美(6組) 松山 周(5組) 山岡 大樹(4組)
 森安 義次(3組) 村瀬 秀士(2組) 佐藤 大介(1組 主任)



平成26年2月22日(土) 於 卒業祝賀会会場にて

平成 25 年度 校友会総会

平成 25 年 5 月 19 日(日)平成 25 年度校友会総会を大阪商業大学ユニバーシティホール「蒼天」に於いて開催した。

会長の挨拶に続いて母校の校長先生よりお祝いの言葉を頂戴して総会が始まった。

総会の詳細は割愛するが、以下に平成 24 年度事業報告と会計収支決算報告書・改選された役員一覧表を掲載する。

平成 24 年度 事業報告

- 24. 4. 6(金) 母 校 第 85 回 入学式 に参列
- 4. 14(土) 第 1 回 本部役員会 於 母校 小会議室
- 5. 12(土) 第 1 回 幹 事 会 於 母校 大会議室
- 5. 19(土) 平成 24 年度 総 会・新校舎見学会・懇親会
第 1 部 総 会 於 母校 大会議室
第 2 部 新校舎見学会 於 母校 新校舎
第 3 部 懇親会 於 U・コミュニティホール
- 9. 27(木) 母 校 第 84 回 体育祭 に参列
- 11. 3(土) 母 校 第 53 回 文化祭 に参加
- 11. 24(土) 第 2 回 本部役員会 於 母校 選択第 2 教室
- 25. 2. 23(土) 母 校 第 83 回 卒業証書授与式 に参列
- 2. 23(土) 第 3 回 本部役員会 於 母校 選択第 2 教室
- 3. 9(土) 第 2 回 幹 事 会 於 母校 大会議室

平成 24 年度 校友会会計収支報告書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
前年度繰越金	6,600,014	総 会 費	20,000
会 費	1,485,000	懇 親 会 費 用	315,000
懇 親 会 会 費	0	役 員 会 費	89,664
校友会活動賛助金	372,000	通 信 費	923,007
賛 助 広 告 料	404,000	印 刷 費	131,271
雑 収 入	1,349	交 通 費	0
		消 耗 品 費	94,500
		雑 費	630
		広 報 宣 伝 費	506,180
		諸 集 会 費	70,000
		慶 弔 費	109,522
		育 英 奨 学 費	111,450
		ク ラ ブ 活 動 補 助	125,000
		学 園 祭 補 助	293,475
		予 備 費	53,550
収入の部合計	8,862,363	支出の部合計	2,843,249
単年度収入合計	2,262,349	単年度支出合計	2,843,249

収入総額 ¥8,862,363 - 支出総額 ¥2,843,249 = 次期繰越 ¥6,019,114

平成 24 年度の収支決算を監査の結果、財産状態 監査 矢森武昭
ならびに運営状況を適正に表示しています。 湯谷宋吾
平成 25 年 5 月 8 日 [印省略]

平成 25 年度改選 役員 一 覧 表

(敬称略)

顧 問	湯原 俊雄 (元校長 昭 54.4～昭 61.3) 23(S28)	上原 洋允 (元大阪弁護士会会長)
	柴田 巖 (元校長 昭 61.4～平 4.3) 12(S17)	安田 敏雄 (元日本弁理士会副会長)
	久間田 博幸 (元校長 平 4.4～平 9.3)	大塚 信一 (前校長 平 20.4～平 25.3)
	厚母 眞一 (元校長 平 12.4～平 16.3)	堀井 純 (現校長 平 25.4～)
	尼子 東吉 (元校長 平 16.4～平 20.3) 23(S28)	岡田 誠一 (前校友会会長)
相 談 役	20(S25) 大村 計治 21(S26) 青山 兼光 21(S26)	澤邑 知明 22(S27) 沖田 義彦
	23(S28) 玉置 修三 23(S28) 矢森 武昭	

役 職	期(年)	氏 名	期(年)	氏 名	期(年)	氏 名	期(年)	氏 名
(本部役員)								
会 長	29(S34)	宮 原 健						
副 会 長	29(S34)	森 田 賢 二	36(S41)	森 田 宗 弘	38(S43)	藤 原 昇	43(S48)	佐 藤 敏 明
	47(S52)	徳 重 悟	48(S53)	五 十 川 精 三	62(H 4)	松 尾 成 彦		
事 務 局 長	38(S43)	田 中 修						
書 記	60(H 2)	坂 口 洋 平	74(H16)	松 田 周				
会 計	37(S42)	矢 津 武 志	63(H 5)	田 坂 隆 司				
監 査	28(S33)	赤 部 功	32(S37)	井 野 早 雄				
常 任 幹 事	24(S29)	安 藤 修	26(S31)	藤 川 良 純	28(S33)	澤 井 駒 一	28(S33)	宮 田 悠 紀 雄
	29(S34)	湯 谷 宋 吾	31(S36)	大 橋 貞 弘	31(S36)	石 河 鴻 一	33(S38)	岡 本 勝 彦
	33(S38)	鈴 木 哲 士	34(S39)	仲 野 明	38(S43)	大 岡 清 司	39(S44)	砂 金 光 夫
	42(S47)	山 口 弘	49(S54)	中 井 司	56(S61)	酒 井 淳	75(H17)	森 安 義 次
	75(H17)	中 村 隆 都	77(H19)	山 岡 大 樹	78(H20)	渡 部 優	82(H24)	柴 田 英 希
幹 事	9(S15)	梅 野 迪	27(S32)	清 水 英 五 郎	29(S34)	須 藤 實 也	35(S40)	正 井 康 久
	41(S46)	生 駒 幸 一	47(S52)	田 口 富 雄	49(S54)	山 岡 眞 大	53(S58)	清 水 尚 義
	61(H 3)	植 田 恭 啓	66(H 8)	大 橋 健 弘	71(H13)	崎 谷 裕 史	76(H18)	大 西 潤 哉
	79(H21)	小 島 ア ヤ	79(H21)	高 橋 尚 起	80(H22)	大 井 孟	80(H22)	中 河 眞 菜
	80(H22)	後 藤 彰 久	81(H23)	藤 崎 鈴 香	81(H23)	松 尾 雅 之	82(H24)	植 木 彩 香
	83(H25)	北 田 章 悟	83(H25)	前 田 正 太 郎				

第1部 総会

於 大阪商業大学 ユニバーシティホール「蒼天」



岡田誠一 会長 挨拶



堀井 純 新校長 祝辞



副会長 五十川精三 副会長



会計報告 赤部 功 会計



監査報告 矢森武昭 監査



諸提案 田中 修 事務局長

第2部 ジャズコンサート 演奏 ファニーカンパニージャズオーケストラ

於 大阪商業大学 ユニバーシティホール「蒼天」



ボーカル 沼田めぐみさん



懇親会での演奏 ハーモニカ 山口 弘 常任幹事

第3部 懇親会

於 U・コミュニティホテル「U・コミュニティホールL」



校歌指揮 青山兼光 相談役



宮原 健 新会長 挨拶



岡田誠一 前会長 乾杯の発声



大塚信一 前校長 挨拶



(右端) 安田敏雄 先生 (本会顧問)



(中央) 吉村峻治先生



閉会挨拶 森田賢二 副会長



2013年度 クラブ実績

☆印…全国大会 / ◆印…府県代表

硬式野球部 [昭和 4 年創部]

- 春季近畿地区大会大阪府予選 ベスト 4
- 全国高校野球選手権大阪大会 3 回戦
- 秋季近畿地区大会大阪府予選 3 回戦

男子バスケットボール部 [昭和 4 年創部]

- 第 66 回大阪高校バスケットボール選手権大会 7 位
- 第 60 回近畿高校バスケットボール選手権大会 ベスト 16
- 第 68 回大阪高校総体バスケットボール大会 8 位
- 大阪商業大会 優勝

陸上競技部 [昭和 4 年創部]

- 大阪 I・H 地区予選会 200m 総合 9 位 植田司朗(2 年)
- 大阪高校総体地区予選 100m 総合 1 位 植田司朗(2 年)
- 走高跳 総合 3 位 小林健太(1 年)
- 4×400m R 総合 2 位
- 大阪高校総体 走高跳 総合 8 位 小林健太(1 年)
- 地区別秋季大会 400H 総合 3 位 松井 誠(2 年)
- 走高跳 総合 2 位 小林健太(1 年)
- 走幅跳 総合 4 位 草場由佳(2 年)

卓球部 [昭和 4 年創部]

- 64 ブロック大会 3 回戦 堀越健太(3 年)・福井功一(1 年)

剣道部 [昭和 4 年創部]

- 春大阪私学大会 1 回戦
- インターハイ大阪予選 1 回戦
- 大阪高校総体 1 回戦

柔道部 [昭和 7 年創部]

- 春インターハイ大阪予選会【団体の部】 ベスト 16
- 大阪高校総体【個人の部】 優勝 石川翔也(3 年) 73 kg 級

軟式野球部 [昭和 24 年創部]

- 春季近畿地区大会大阪府予選 2 回戦
- 大阪私学大会 3 位
- 全国高校野球選手権大阪大会 2 回戦
- 秋季近畿地区大会大阪府予選 2 回戦

サッカー部 [昭和 24 年創部]

- 大阪高校春季サッカー大会 4 回戦
- 高円宮杯 U-18 サッカーリーグ 2 部 8 位
- 全国高校サッカー選手権大阪大会 2 回戦

バレーボール部 [昭和 30 年創部]

- 全国高校総体大阪府予選 3 位
- 近畿高校バレーボール優勝大会 ベスト 16
- 全日本バレーボール高校選手権大会大阪府予選 3 位
- 大阪高校新人大会 3 位

ラグビー部 [昭和 32 年創部]

- 全国大会大阪予選 ベスト 8
- 大阪府秋季総体 A-1 ゾーン 2 位
- 近畿大会大阪予選 ベスト 8
- 大阪私学 1 年生大会 5 位 優秀選手 葛城智成(1 年)
- 大阪私学大会 4 位トーナメント ベスト 4 優秀選手 西口龍哉(3 年)

ワンダーフォーゲル部 [昭和 34 年創部]

- 夏合宿 北穂高岳(標高 3,106m) を登頂

ボクシング部 [昭和 48 年創部]

- 全国高校選手権大会大阪府予選 予選敗退
- 国民体育大会大阪府予選 予選敗退

硬式テニス部 [昭和 49 年創部]

- 大阪高校春季テニス大会【個人】【団体】 出場
- 第 67 回大阪高校総体 1・2 年の部 出場
- 大阪高校秋季テニス大会 出場
- 大阪私学大会 出場

ゴルフ部 [平成 19 年創部]

- ☆ 全国高校ゴルフ選手権大会
 - 【団体の部/男子】 16 位 【団体の部/女子】 4 位(6 位) 入賞
 - 【個人の部/女子】 岡山絵里(2 年)10 位タイ 松田なつき(3 年) 28 位タイ
- ☆ 日本ジュニアゴルフ選手権競技
 - 【個人の部/男子】 安森一貴(1 年)16 位タイ 阪口清秀(1 年)28 位タイ
- ☆ 春季全日本高校選抜ゴルフ競技会
 - 【団体の部/男子】 10 位 【団体の部/女子】 優勝
- ☆ 全日本女子パブリックアマチュア選手権競技
 - 【個人の部/女子】 岡山絵里(2 年) 優勝
- ☆ 日本女子アマチュア選手権競技
 - 【個人の部/女子】 松田なつき(3 年)・岡山絵里(2 年) 出場
- ☆ 全日本大学高校対抗戦 岡山絵里(2 年) 4 位
- ☆ 東京国民体育大会
 - 【団体女子の部】 松田なつき(3 年) 優勝
- ◆ 東京国民体育大会(予選)
 - 【団体の部】 安森一貴(1 年)・松田なつき(3 年) 優勝 *大阪府代表
 - 【団体の部】 西村 涼(2 年)・細越澤 凱(2 年) *奈良県代表
- 関西高校ゴルフ選手権
 - 【団体の部/男子】 3 位 【団体の部/女子】 3 位
 - 【個人の部/男子】 西村 涼(2 年) 6 位
 - 【個人の部/女子】 岡山絵里(2 年) 6 位
- 関西ジュニアゴルフ選手権 決勝
 - 【個人の部/男子】 安森一貴(1 年) 5 位タイ *決勝進出
 - 阪口清秀(1 年) 11 位タイ *決勝進出
 - 【個人の部/女子】 岡山絵里(2 年) 3 位 *全国大会出場決定
- 関西アマチュア選手権競技
 - 【個人の部/男子】 西村 涼(2 年) *決勝進出
- 関西女子アマチュア選手権競技
 - 【個人の部/女子】 7 名が決勝進出
- 関西高校ゴルフ選手権 決勝
 - 【個人の部/男子】 西村 涼(2 年) 4 位 *春季全国大会出場決定
 - 【個人の部/女子】 岡山絵里(1 年) 6 位 *春季全国大会出場決定
- 大阪高校ゴルフ選手権大会
 - 【個人の部/男子】 安森一貴(1 年) 優勝 他 7 名 関西大会出場決定
 - 【個人の部/女子】 岡山絵里(2 年) 準優勝(プレーオフ)
- 朝日新聞杯 関西高校ゴルフマッチプレー選手権
 - 【男子】 阪口清秀(1 年) 準優勝 【女子】 岡山絵里(2 年) 優勝
- 平成 25 年度大阪府高校ゴルフ選手権大会 秋季大会
 - 【男子の部】 西村 涼(2 年) 優勝 【女子の部】 岡山絵里(2 年) 優勝
 - 【団体の部/男子】 優勝
 - 【団体の部/女子】 優勝
 - 【個人の部/男子】 武井北斗(3 年) 2 位
 - 【個人の部/女子】 岡山絵里(1 年) 優勝

女子バスケットボール部 [平成 20 年創部]

- 第 60 回大阪府私学大会 出場

ダンス部 [平成 23 年創部]

- 日本高校ダンス部選手権 近畿・中国・四国地区予選 出場
- 日本高校ダンス部選手権~新人戦 出場
- 第 8 回若者ダンスカーニバル 出場

吹奏楽部 [昭和 9 年創部]

- 第 23 回管弦打楽器ソロコンテスト大阪大会(東大阪会場) 銀賞

放送部 [昭和 28 年創部]

- アツコウ ch CM 出演

囲碁・将棋部 [昭和 52 年創部]

- 全国高校将棋竜王戦大阪府大会 C 級 準優勝 斎藤廣騎(2 年)

美術部 [昭和 59 年創部]

- 大阪私学美術展 奨励賞 清野萌奈(3 年)

書道部 [昭和 60 年創部]

- 第 29 回成田山全国競書大会 秀作 金剛賞 辻 宝(2 年)

漫画研究部 [平成 25 年創部]

- 第 22 回全国高校漫画選手権大会(まんが甲子園) 出場

■ 体育クラブ 各種大会一覧表 (平成26年度)

■ 大学合格状況

(2月末日現在)

軟式野球部

- 4月 春季近畿地区高校大阪大会
- 7月 全校高校野球選手権大阪大会
- 9月 秋季近畿地区高校大阪大会
- 10月 大阪私学高校総合体育大会

ラグビー部

- 4月 大阪府春季総合体育大会
- 6月 大阪私学高校総合体育大会
- 6月 大阪私学総合体育一年生大会
- 9月 全国高校選手権大会大阪府予選
- 1月 近畿大会大阪府予選



サッカー部

- 2~10月 高円宮杯U-18サッカーリーグ2014
- 2~6月 大阪高校春季大会(インターハイ予選)
- 8~11月 全国高校サッカー選手権大会大阪大会

硬式テニス部

- 4月 大阪高校春季テニス大会
- 5月 大阪高校春季テニス大会 団体の部
- 7月 大阪私学高校テニス大会
- 8月 大阪高校総合体育大会テニス大会
- 9月 大阪高校秋季テニス大会



硬式野球部

- 4・5月 近畿大会大阪春季大会
- 7月 全国高校野球選手権大阪大会
- 9・10月 近畿大会大阪秋季大会

ゴルフ部

- 4月 関西アマチュアゴルフ選手権大会(予選)
- 5月 大阪府高校ゴルフ選手権(男子・女子)
- 5月 国体少年男子の部大阪府最終予選
- 5月 関西女子アマチュアゴルフ選手権(決勝)
- 6月 関西アマチュアゴルフ選手権大会(決勝)
- 6月 国体少年女子の部大阪府最終予選
- 6月 関西高校ゴルフ対抗戦
- 6月 日本女子アマチュアゴルフ選手権
- 6月 国体近畿ブロック予選(少年男子)
- 6月 全国高校ゴルフ選手権大会関西予選
- 7月 日本アマチュアゴルフ選手権大会
- 7月 関西ジュニアゴルフ選手権大会(予選・決勝)
- 8月 全国高校ゴルフ選手権大会(団体・個人)
- 8月 日本ジュニアゴルフ選手権大会
- 9月 国民体育大会ゴルフ競技
- 9月 大阪府私立高校総合体育大会
- 11月 大阪府高校ゴルフ新人戦(男子・女子)
- 12月 関西高校ゴルフ選手権春季大会(全国予選)
- 1月 関西高校ゴルフマッチプレー選手権(予選・決勝)
- 3月 全国高校ゴルフ選手権春季大会



卓球部

- 5月 大阪64ブロック代表大会
- 5月 国民体育大会卓球競技大阪府予選会
- 5月 大阪高校卓球選手権大会男女学校対抗の部
兼 全国・近畿高校卓球選手権大阪府予選会
- 5月 上記(シングルの部)
- 5月 上記(ダブルスの部)
- 7月 大阪商業高校大会
- 8月 全日本卓球選手権大阪府予選会(ジュニアの部)
- 8月 大阪高校新人卓球大会男女学校対抗の部
- 8月 大阪高校新人卓球大会男女シングルの部
兼 近畿高校新人卓球大会大阪府予選会
- 8月 上記(ダブルスの部)
- 11月 全国高校選抜卓球大会シングルの部大阪府予選会
- 1月 大阪高校総合体育大会
兼 近畿高校新人卓球大会大阪府予選会
- 1月 大阪高校チャレンジカップ

バレーボール部

- 6月 全国高校総合体育大会大阪府予選
- 7月 近畿高校優勝大会
- 7・8月 全国高校総合体育大会
- 8月 国体近畿ブロック大会
- 9月 大阪私学高校総合体育大会
- 10月 国民体育大会
- 10・11月 全日本高校選手権大会大阪府予選
- 11月 近畿私学高校選抜大会
- 1月 全日本高校選手権大会
- 1・2月 大阪高校新人大会



陸上競技部

- 5月 大阪高校陸上競技対抗選手権大会
- 8月 大阪高校総合体育大会
- 8月 大阪私学高校総合体育大会
- 10月 大阪高校地区別秋季大会



柔道部

- 5月 大阪私学高校総合体育大会
- 6月 全国大会大阪府予選会
- 8月 大阪高校総合体育大会
- 11月 大阪高校新人柔道大会 兼
全国高校柔道選手権大会大阪府予選会



剣道部

- 4月 大阪私学高校総合体育大会
- 6月 全国高校総合体育大会大阪府予選
- 9月 大阪商業高校大会
- 11月 大阪高校総合体育大会
- 1月 大阪高校新人剣道大会

バスケットボール部

- 4~6月 大阪高校バスケットボール選手権大会
- 6月 近畿高校バスケットボール選手権大会
- 8~9月 大阪高校総合体育大会
- 11月 大阪私学高校総合体育大会
- 1月 大阪高校バスケットボール新人大会



ダンス部

- 8月 日本高校ダンス部選手権大会
- 12月 日本高校ダンス部選手権冬季大会
- 3月 日本高校ダンス部選手権新人戦

四年制大学名	合格
大阪商業大学	87
神戸芸術工科大学	8
関西大学	3
同志社大学	2
立命館大学	2
京都産業大学	3
龍谷大学	1
甲南大学	1
近畿大学	6
大阪芸術大学	5
追手門学院大学	3
大阪学院大学	5
大阪観光大学	1
大阪経済大学	4
大阪経済法科大学	1
大阪産業大学	8
大阪成蹊大学	1
大阪体育大学	1
大阪電気通信大学	5
大阪人間科学大学	1
大阪国際大学	2
大阪保健医療大学	1
関西医療大学	1
関西外国語大学	6
関西福祉科学大学	2
相愛大学	1
四天王寺大学	10
摂南大学	10
帝塚山学院大学	3
常磐会学園大学	1
阪南大学	42
太成学院大学	1
桃山学院大学	14
森ノ宮医療大学	2
京都嵯峨芸術大学	1
京都精華大学	7
京都造形芸術大学	2
大谷大学	3
京都学園大学	1
神戸国際大学	1
神戸医療福祉大学	1
神戸学院大学	2
帝塚山大学	7
天理大学	3
びわこ成蹊スポーツ大学	2
東北福祉大学	1
四年制大学小計	275
短期大学名	合格
大阪女子短期大学	3
大阪国際大学短期大学部	1
関西外国語大学短期大学部	1
短期大学小計	5
大学合格数総数	280

系列大学 = 大阪商業大学
神戸芸術工科大学
大阪女子短期大学

■ 全国商業高等学校協会 簿記検定試験 合格者数一覧表

回数	実施日	1 級			2 級	3 級	合計
		総合	会計	原計			
70	平成 22 年 6 月 27 日	0	2	6	22	※	30
71	平成 23 年 1 月 23 日	0	0	8	10	115	133
72	平成 23 年 6 月 26 日	0	1	3	19	※	23
73	平成 24 年 1 月 22 日	1	※	5	42	136	184
74	平成 24 年 6 月 24 日	2	5	9	20	3	39
75	平成 25 年 1 月 27 日	3	2	10	43	160	218
76	平成 25 年 6 月 23 日	2	2	12	64	13	93
77	平成 26 年 1 月 26 日	0	0	8	9	160	177

◎ 総合 1 級は、「会計」と「原計(原価計算)」の両科目を合格した者 ※ = 受験せず

■ 平成 26 年 3 月 卒業生進路状況

(ゴシック=系列大学) (3 月 3 日現在)

進路状況	合格	割合
大阪商業大学	82 名	23.5%
神戸芸術工科大学	8 名	2.3%
大阪女子短期大学	3 名	0.9%
他 四年制大学	144 名	41.2%
他 短期大学	2 名	0.6%
専門学校	61 名	17.5%
就職	25 名	7.1%
その他未定・出願中	24 名	6.9%
卒業生総数	349 名	100.0%

■ 平成 25 年度 デザイン美術コース コンクール等 入賞一覧表

献血啓発作品ポスター原画募集事業	大阪府健康医薬部主催	優秀賞 1 名 , 入賞 5 名
第 25 回 全日本高校デザイン・イラスト展	全国	U.G.サトー賞 1 名 , 優秀賞 1 名
	近畿・中部地区	地区優秀賞 2 名 , 地区敢闘賞 4 名
第 6 回 サブローごまコンテスト	大阪ものづくり観光推進協会賞	1 名 , サブフロー賞 1 名
第 31 回 大阪府青少年読書感想画コンクール	大阪府学校図書館協議会	優秀賞 1 名 ※学校賞も受賞 , 優良賞 4 名

<p>第 28 期 昭和 33 年卒業</p> <p>校友会 常任幹事</p> <p>澤井 駒一</p> <p>八尾市本町 6-14-8-4003 TEL&FAX 072-970-5540</p>	<p>第 38 期 昭和 43 年卒業</p> <p>ファニーカンパニージャズオーケストラ FUNNY COMPANY orchestra</p> <p>校友会副会長 藤原 昇</p> <p>泉大津市松之浜町 1-17-11 TEL&FAX 0725-33-3904</p>	<p>第 49 期 昭和 54 年卒業</p> <p>株式会社 壽精工 工場長</p> <p>中井 司</p> <p>東大阪市中野 1-19-24 TEL 072-967-1836</p>	<p>第 52 期 昭和 57 年卒業</p> <p>バスケットボール部OB会会長</p> <p>佐竹 健司</p> <p>東大阪市吉田 7-8-3 TEL 072-964-2455</p>
<p>第 47 期 昭和 52 年卒業</p> <p>校友会 副会長 英文タイプ部</p> <p>徳重 悟</p> <p>大阪市此花区春日出北 3-8-9 TEL 06-6464-6418</p>	<p>第 48 期 昭和 53 年卒業</p> <p>校友会 副会長 (母校教諭)</p> <p>五十川 精三</p> <p>大阪府南河内郡太子町山田 823-6 TEL 0721-98-0653</p>	<p>校友会 副会長</p> <p>森田 賢二</p> <p>第 29 期 昭和 34 年卒業</p> <p>〒577-0016 東大阪市長田西 1-3-10 TEL (06) 6788-1667 FAX (06) 6788-4776</p>	<p>校友会 会長</p> <p>宮原 健</p> <p>第 29 期 昭和 34 年卒業</p> <p>〒639-1058 大和郡山市矢田町 5895-34 TEL&FAX 0743-52-4100</p>
<p>大阪・港 海遊館通り</p> <p>喫茶 軽食 ロマン</p> <p>矢津 武志</p> <p>第 37 期 昭和 42 年卒業</p> <p>〒552-0021 大阪市港区築港 4-3-24 TEL & FAX 06-6571-1579</p>	<p>校友会 事務局長 (母校教諭)</p> <p>田中 修</p> <p>第 38 期 昭和 43 年卒業</p> <p>〒579-8014 東大阪市中石切町 2-8-25 TEL&FAX 072-987-9618</p>	<p>住まいの総合商社</p>  <p>戸建住宅・注文住宅・建築・設計・施工 大黒住建株式会社</p> <p>愛知 浩</p> <p>第 54 期 昭和 59 年卒業</p> <p>大阪府羽曳野市野々上 2 丁目 11 番 3 号 TEL (072) 938-2551・FAX (072) 938-2513</p>	<p>植田 生花</p> <p>稽古用盛花・御流儀・家庭用盛花 各種アレンジ花・生込み</p> <p>代表 植田 恭啓</p> <p>第 61 期 平成 3 年卒業</p> <p>〒581-0874 八尾市大竹 7-254 TEL (072) 941-0841 FAX (072) 941-0848</p>

新テイコク薬業株式会社

取締役社長 **藤川 良純**

第 26 期 昭和 31 年卒業 校友会常任幹事

〒577-0816 東大阪市友井 5-4-39
TEL 06-6722-2518

丸三運輸倉庫株式会社

代表取締役社長 **宮田 宏**

第 30 期 昭和 35 年卒業

本社 〒811-2114 福岡県糟屋郡須恵町上須恵 1408-1
新原工業団地内

TEL 092(957)0270(代)
FAX 092(957)0271



校友会 相談役

沖田 義彦

第22期 昭和27年卒業

〒577-0804 東大阪市中小阪 1-3-8

TEL & FAX 06-6722-4901

ヘアブラシ、ハブラシ、洋服ブラシを創り続けた

創業80余年の実績

イケモトのブラシ



IKEMOTO

第23期 昭和28年 卒業

代表取締役会長 池本 繁喜

品質がメッセージ

池本刷子工業株式会社

本社：〒578-0934 東大阪市玉串町西1-3-27
PHONE 072-964-2331 FAX 072-964-9363
support@icmco.co.jp http://www.icmco.co.jp/
東京営業所：〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町11-8
PHONE 03-5623-3040 FAX 03-3664-5330

土木・建築・設計・施行



木下建設株式会社

代表取締役 木下 正幸 第26期 昭和31年卒業

木下 幸人 第50期 昭和55年卒業

本社 〒564-0042

吹田市穂波町 26 番 13 号

TEL(06)6380-1111(代)

支店 〒566-0064

摂津市鳥飼中 3 丁目 6 番 40 号

TEL(0726)54-9473

営業品目
ビニール生地
ビニールテープ
ビニール製品・印刷
ポリシート・腕章
のぼりポール・スタンド
及 切断加工

長堀化成製品株式会社

代表取締役 大橋 貞弘
第31期 昭和36年卒業

荻野 充 第51期 昭和56年卒業
大橋 健弘 第66期 平成8年卒業

〒542-0082
大阪市中央区島之内1-17-14
TEL(06)6252-6868(代)
FAX(06)6243-2678

本格串料理

串揚若 稲葉

稲葉 照夫

第43期 昭和48年卒業

本店 〒636-0153
奈良県生駒郡斑鳩町龍田
南1丁目2-18
TEL 0745(75)0606
FAX 0745(75)7878

王寺店 〒636-0003
奈良県北葛城郡王寺町久
度2丁目2-1
リパール東館 地下1F
TEL&FAX 0745(31)5577

株式会社 ヨシダ 寝装品製造販売

株式会社 ヨシダ 福祉事業部

大連新元吉田室内用品有限公司

代表取締役 森田 宗弘

第36期 昭和41年卒業

本社営業所 橿原市西新堂町100-2番地
エム福祉タクシー 奈良県全域
訪問介護センター(2970500803)
TEL 0744-24-2967 FAX 0744-25-1285

中国大連工場 中国大連市出口加工1区1-1
大連新元吉田室内用品有限公司
TEL 0180641187545138
FAX 0180641187545238

杉山文化教室

書道・水墨画・詩吟道

杉山 瀧藏

第11期 昭和16年12月卒業

〒577-0015 東大阪市長田 2-17-11

電話(06)6784-1120

活の味

鰻一筋

住吉うなぎ

きち

増田 猛雄

第三十七期(昭和四十二年卒)

〒五五八-〇〇三二

大阪市住吉区遠里小野五丁目二二-一八

あびこ道 バス停 南五〇米

電話(〇六)六六九五-六〇四〇番

定休日 毎週水・木曜日連休



石切神社参道・海鮮市場

岡本 勝彦

第 33 期 昭和 38 年卒業

〒579-8011
東大阪市東石切町 1-5-30
TEL 072-981-3423

TESSUTO

代表取締役 **砂金 光夫** 第 39 期 昭和 44 年卒業

株式会社 テスート

〒579-8027 大阪府東大阪市東山町 4-1
TEL : 072-986-5357 FAX : 072-986-5359
E-Mail : mitsuo-sunagane@tessuto.co.jp

田坂会計事務所

所長 税理士 **田坂 隆司**

第 63 期 平成 5 年卒業

☎550-0015

大阪市西区南堀江 2-1-1
ブリエ南堀江 2 階

TEL 06(6532)8533 FAX 06(6532)8534

URL <http://www.tasaka-kaikei.com>

E-mail tasaka-kaikei@tkcnf.or.jp

スキー部OB会

ホームページ開設しました。

<http://shodai-skiclub.sblo.jp/>

スキー部OBの同窓会の開催予定など
ホームページより情報発信しています。

安田岡本特許事務所

“新しいモノづくりへの挑戦”

特許権や商標権を始めとする知的財産権の保護・活用は、わが国産業活性化のための最も重要なファクターです。知的財産権は何も大企業だけのものではありません。むしろ中小企業、ベンチャー企業の皆様にとってこそ、この不況の中で“勝ち組”となるための必須条件です。

安田岡本特許事務所は、国内はもとより外国出願、さらに侵害訴訟を含む紛争解決においても長年の経験とノウハウを蓄積しており、常に皆様の良きビジネスパートナーであり続けたいと考えています。

特許・実用新案・意匠・商標等の知的財産に関するご相談がございましたら、ご遠慮なくご連絡下さい。

お陰様で同窓生の皆様方から多数のご相談を賜っております。

〔 所長 弁理士 安田 幹雄 〕

パートナー 弁理士 岡本 宜喜
弁理士 国立 久
弁理士 片桐 務
弁理士 武藤 正

総員 26 名(弁理士含む)

〒577-0066
大阪府東大阪市高井田本通 7-7-19 しょうり 昌利ビル 7 階・6 階
地下鉄中央線「高井田」駅 2 号出口 } 西へ徒歩 1 分
JR おおさか東線「高井田中央」駅 }

12 期・本校元教諭

会長 弁理士 安田 敏雄

— 会長略歴 —
昭和 17 年 12 月 本校卒業(第 12 期)
昭和 21 年 官立大阪工業専門学校
(現大阪府立大学工学部)卒業
昭和 21 年~35 年 本校教諭(物理,化学,商品学)
昭和 32 年 弁理士登録
昭和 53 年 弁理士会(現日本弁理士会)副会長
平成 3 年 黄綬褒章受章
平成 9 年 勲五等双光旭日章受章

TEL 06-6782-6917(代表)

FAX 06-6782-6900

E-mail : main@actelpat.com



本 社 (中央区森ノ宮)

FOR NEW NOW
OKADA

本 社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-16-17
TEL 06(6942)-2651 FAX 06(6942)-2670

不 動 産 プ ラ ン ナ ー

宅建免許 大阪府知事(6)40169号

株式会社 **岡田本社**

<http://www.okada-inc.co.jp>

E-mail:t4@okada-inc.co.jp

代表取締役 岡田 誠一 (第23期 昭和28年卒業)

おかげさまで卒業生数25年間連続大阪No.1

車種 普通 普通二輪 大型二輪 普通二種
高齢者・初心者・違反者・ペーパードライバーの各種講習

地域と歩む安全運転センター八戸ノ里ドライビングスクール



大阪府公安委員会指定

八戸ノ里ドライビングスクール
やえのさと



〒577-0034 東大阪市御厨南1-4-38 ☎0120-831024 取締役会長 谷岡 剛(第25期 昭和30年卒業)

酵素一筋 37 年 生命あるところに酵素あり

商品のご紹介

- 商品名：酵素飲料「モルセラ デラックス」
- 名称：純植物性酵素飲料（清涼飲料水）
- 内容量：1,000ml
- 商品説明：旬の野菜・果物・穀物・野草・海草・樹液など、約 60 種類の原材料から特殊技術でエキスを抽出し、大切に熟成発酵させた手作り酵素
- 販売者：素飲料です。
- 生産国：株式会社 アリカ
- お召し上がり日本
方法：1 日 2～3 回を目安に、原液のまま、または氷で割ってお召し上がりください。

酵素は自然の贈りもの。

株式会社 アリカ

〒810-0001 福岡市中央区天神 2-14-8 天神センタービル 6 F

赤部 功 第 28 期(昭和 33 年卒業)

0120-11-0204

24 時間受付(月曜～土曜 AM10:00～PM8:00)

※日曜夜間は留守番電話が承ります

FAX 0120-22-3782 [24 時間受付]

※送料は当社負担。

※商品はお申込み後 1 週間以内にお届けします。

※支払は代金引換、又は各種クレジットカード。(手数料無料)

※返品は未開封に限り 8 日以内。(返送料はお申込者負担)

発酵に適した木製の桶に原料を仕込みます。素材の持ち味を活かすため、時間と手間を惜しまず手作業にこだわっています。

旬の素材を中心とする、六十種類以上の新鮮な野菜、果物、海藻、穀物、樹液などが含まれています。

添加物や水、熱は使わずに、じっくりと熟成します。この間、さらに成分が凝縮され、味わいもまろやかにります。



さあ、次はあなたです!

今ならキャンペーン実施中!

税込・全国送料無料



飲む美容液「酵素飲料」

モルセラ デラックス

1 本(1,000ml)

通常価格 15,750円

特別価格 9,450円

さらにお得!

3個セットで1個当り 8,505円

6個セットで1個当り 7,560円

■ かきかた教室を開きませんか ■

独自に開発した読み書きの教材「花文字」と「ピーターパン」

を使って開塾のお手伝いをさせていただきます。

また、現在書道塾を運営されている方もこのテキストをご活用ください。

ユニークで楽しい教材、花文字

日本教育書道会

編集・発行責任者 伊藤 影心

(第 29 期 昭和 34 年 3 月卒業 伊藤 榮信)

詳細は、ホームページを参照してください。

<http://www.eisinzemi.com>

または

発売元 株式会社 羽山 商店

〒537-0003 大阪市中央区材木町 2 番 4 号

TEL : (06) 6942-3464

FAX : (06) 6941-9475



■『校友会活動賛助金』のお願い

本会の目的(会則第3条)を達成するためには、各種事業を計画・立案することになり、かなりの資金を必要とします。

毎年、総会開催に伴う諸経費、母校の周年事業の協賛や校友会の今後の活動のための資金として、皆様方のご好意による浄財を「校友会活動賛助金」としてお願いしております。

今年も一口¥1,000(何口でも可)の温かいお志をお願いいたします。

送金方法 : 郵便振替 (別紙「払込取扱票」を利用)

口座番号 : 大阪0960=5=67967

加入者名 : 大阪商業大学高等学校 校友会

■『賛助広告掲載』のお願い(要予約)

次号(第14号)に賛助広告掲載のご協力を!

皆様よりのご協力をお願いします。

広告サイズ :	A. 横 4.7cm×縦 2.3cm	¥ 3,000
	B. 4.7cm× 4.6cm	¥ 5,000
	C. 4.7cm× 6.9cm	¥ 8,000
	D. 9.5cm× 4.6cm	¥10,000
	E. 9.5cm× 9.2cm	¥15,000
	F. 9.5cm× 13.8cm	¥20,000
	G. 19.0cm× 9.2cm	¥25,000
	H. 19.0cm× 13.8cm	¥30,000
	I. 19.0cm× 27.6cm	¥50,000

申込み締切 : 平成27年3月2日(月)

広告料 : 次年度配布の「払込取扱票」にてお振込みの上、広告原稿をお送りください。

■『新役員』の要請

平成25年度に改選いたしました役員は、本誌 p.14 のとおりです。

平成28年度総会で役員を改選します。積極的に役員として活動していただける方は、自薦・他薦を問わず、校友会事務局までお申し出下さい。特に、幹事は各期に最低一名はお願いしたいのですが、充分ではありません。ぜひ、積極的にお申し出をお願いします。

役員の活動内容

本部役員 : 年間3回の本部役員会との幹事会に出席して諸審議に参加していただきます。

幹事 : 年間2回の幹事会の諸審議に参加し、総会に向けての準備と当日の役割をお願いします。

■『校友会だより「校友会誌」』の原稿募集

次号(第14号)に原稿投稿のご協力を!

校友会活動を充実させるため、校友会だより「校友会誌」を発刊しています。より充実した内容にするためには、皆様よりの投稿が不可欠です。

下記により原稿を募集していますので、ぜひ、投稿していただきますようお願いいたします。

なお、同期会・クラブOB会など開催の情報を事務局までお寄せください。校友会から些少ですが補助金を支給させていただきます。

原稿の内容 : 同期会・クラス会・クラブOB会などの状況・生徒時代の思い出・短歌俳句など。写真や資料の提供も歓迎します。

原稿提出期限 : 平成27年3月2日(月)

原稿送付先 : 大阪商業大学高等学校 校友会 事務局 〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 大阪商大高校内
 TEL : 06-6781-3050 FAX : 06-6781-8972 Eメール : info@kouyuukai.org
会誌発行日 : 平成27年4月13日(月)の予定 **発行部数** : 約12,000冊

平成25年度 (敬称略)

賛助金・賛助広告協力者芳名

皆様方のご好意による浄財を「校友会活動賛助金」および「賛助広告」としてお願いいたしましたところ、多数の皆様からご協力を賜り、ありがとうございました。

お蔭様で、賛助金・賛助広告を合わせまして約730,000円の浄財を拠出していただきました。深く感謝申し上げます。

芳名記載には、万全を期したつもりですが、記載漏れ等がありましたらご容赦を賜りますようお願い申し上げます。

賛助金と賛助広告	賛助広告	賛助金
11(S16) 杉山 瀧藏	25(S30) 谷岡 剛	8(S14) 世古口康一郎
28(S33) 赤部 功	26(S31) 藤川 良純	岡田 卓造
29(S34) 宮原 健	28(S33) 澤井 駒一	9(S15) 梅野 迪
37(S42) 増田 猛雄	29(S34) 森田 賢二	10(S16) 古川 克巳
38(S43) 田中 修	伊藤 榮信	11(S16) 矢田貝善雄
39(S44) 砂金 光夫	30(S35) 宮田 宏	11(S16) 田中喜久雄
43(S48) 稲葉 照夫	31(S36) 高橋 隆男	田中 政輔
47(S52) 徳重 悟	大橋 貞弘	13(S18) 畑中 達司
49(S54) 中井 司	33(S38) 岡本 勝彦	吉村 馨
	36(S41) 森田 宗弘	14(S20) 第14期 校友会
	37(S42) 矢津 武志	櫛 利昭
	38(S43) 藤原 昇	15(S20) 寺井 勇
	48(S53) 五十川精三	17(S22) 北村 寛
	52(S57) 佐竹 健司	横井 辰夫
	54(S59) 愛知 浩	19(S24) 大友 佳三
賛助広告	57(S62) 細尾 忠広	次田 幸雄
12(S17) 安田 敏雄	61(H 3) 植田 恭啓	20(S25) 小清水英二
22(S27) 沖田 義彦	63(H 5) 田坂 隆司	篠浦 一朗
23(S28) 岡田 誠一		
池本 繁喜		

賛助金	賛助金	賛助金
20(S25) 坂上 猛	29(S34) 清水鉄次郎	40(S45) 河野 正博
21(S26) 住本 重雄	小廣 正	42(S47) 大森 輝義
大塚 哲男	中野 隆右	43(S48) 種谷 昇
大藪 稔	30(S35) 喜多 忠博	八倉 康祐
澤邑 知明	北浦 明雄	45(S50) 谷垣 和夫
見矢 明	片山 廣次	47(S52) 田口 富雄
橋本 修	片内 昭	48(S53) 牧山 孝司
22(S27) 中川 勉	吹田 進	49(S54) 梶田 昇
吉岡 健	後藤 正義	50(S55) 松本 安成
新谷 守男	31(S36) 東條 勝	51(S56) 斧田 政文
岩永 善次	木戸 守正	53(S58) 清水 尚義
玉置 修三	平石 昭男	54(S59) 植田 洋
橋本 正孝	吉田 史朗	西岡 利昭
宮野 友義	石河 鴻一	57(S62) 宮林 輝明
西川 宣之	32(S37) 井野 早雄	59(H 1) 孝月 貴
24(S29) 慶田 欽一	33(S38) 鈴木 哲士	60(H 2) 種子田英司
安藤 修	35(S40) 布川 清澄	62(H 4) 前川 和義
高橋 利夫	南宅 英治	66(H 8) 角倉 弘明
坂口 松男	正井 康久	77(H19) 中山 大輔
26(S31) 中橋 祥起	石田 修	阪上 英昭
真鍋 安男	石田 俊男	80(H22) 中谷 英之
木下 正幸	辻 嘉樹	81(H23) 徳山 雄大
27(S32) 清水英五郎	36(S41) 宮井 節雄	82(H24) 坂本 達也
28(S33) 宮田悠紀雄	松本 宏	小田 雅之
29(S34) 湯谷 宋吾	牧内 勝巳	
細見 信隆	37(S42) 西田 正樹	
米村 和幸	穂積 鉄夫	数字=期(卒業年)
雁金 祥泰	荻野 秀雄	S=昭和, H=平成
中井 昭夫	38(S43) 大岡 清司	太字=13号賛助広告予約
小南 和夫	39(S44) 横山 一夫	

平成 26 年度 校友会 総会

平成 26 年 5 月 18 日(日)

■ **総会** 於 **大阪商業大学 ユニバーシティホール「蒼天」**

開会 午後 2 時 00 分 (受付 午後 1 時 30 分)

- 議案** ① 事業報告 ② 決算報告 ③ 監査報告 ④ 役員追加
 ⑤ 事業計画 ⑥ 予算審議 ⑦ その他

■ **演奏会** 演奏 **大阪商業大学高等学校 吹奏楽部** (総会終了後)

■ **懇親会** 於 **U・コミュニティホテル「U・コミュニティホールL」** (TTS センター 6 階)

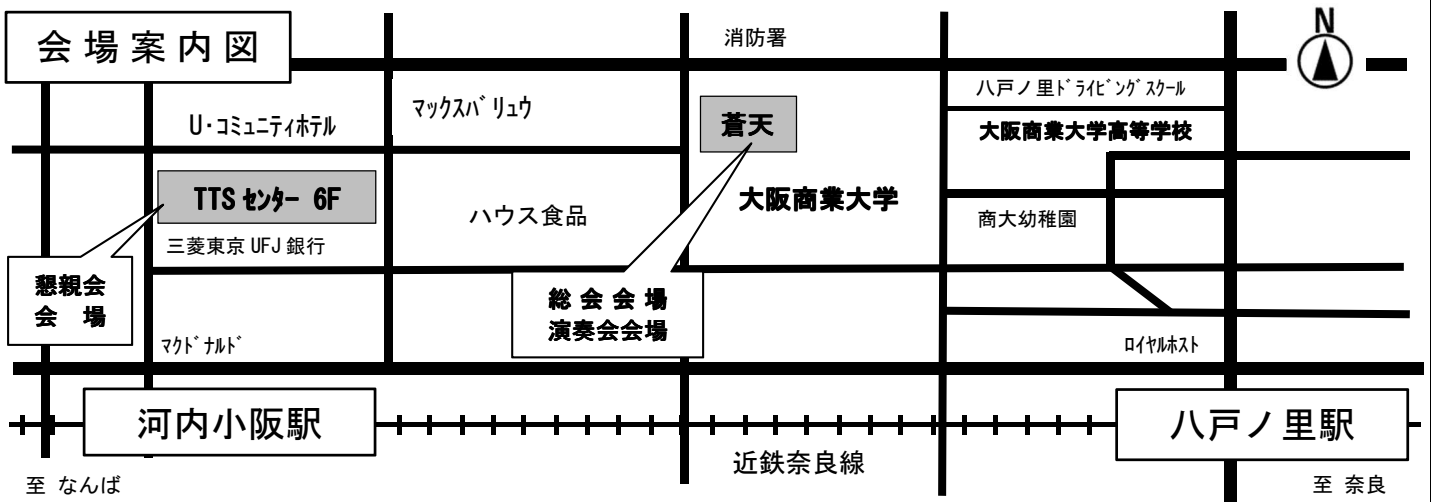
開会 午後 4 時 30 分 (受付 午後 4 時 15 分)

※ 懇親会会費

{	特別会員(現・旧教職員)	招待	※ 当日、受付にて「払込金受領書」 をお示しください。
	正会員	¥5,000	
	長寿会員(第1期～第27期)	¥2,000	
	新卒会員(平成23～26年3月卒)	招待	

※ **総会および懇親会参加希望者は、5月7日(水)までに、「返信用はがき」に必要事項をご記入のうえお申し込みください。**

◎ 払込取扱票で懇親会会費・校友会活動賛助金・賛助広告料を振り込まれる方は、「返信用はがき」を省略してください。



編集後記

同窓会組織が整備され、初めての総会が開かれた平成 13 年 5 月から、本年度で満 13 年。第 14 回目の総会を迎えることになった。まことに喜ばしい限りである。

昨年の経済状況は、安倍晋三政権の経済政策「アベノミクス」に対する期待により、円安株高が進み、経済もやや上向き傾向にあるものの、消費税増税を間近に控え、まだまだ予断を許さない状況であろう。

しかし、その一方で昨年 9 月には 1964 年(昭和 39 年)以来、実に 56 年振りの東京オリンピック、パラリンピックの 2020 年招致に成功し、国中が期待に胸を膨らませ、一気に日本列島に活気が満ち溢れたように感じた。

現在、まだ様々な社会問題が山積している状況ではあるが、前回の東京オリンピック・パラリンピックの時のように、国民が一つになることさえ出来れば、今の閉塞した社会状況を打開できるに違いないと確信している。